



何禮之助

學校之儀之件建言

4186



114
A 4179
1

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

今般所東下お成供就而洋学校之儀亦多紙
板府之建言書お宛夫之件々上向は採用
上向是折成と成下致も願儀



一昨奉来書密局は建置有之為共受業と生徒
多々有之学科之順序立たるを故あり元來普通
学校何事あり多々有之生徒直之其門に入る
者ハ漸平々々々涯岸を見自能之望洋
嘆何而已教師之於平生之學術を大に展
教授

清義術と理学と端緒を説く過るの事と遺憾の事と
多存後隨而東京表と大學校之法則定成——人物器械
全備——業を受く高料の學生の輻輳殆布と雖も
以上言密教師を口所は口招お成用成校醫學校
合保有と錦上潘衣と昌盛と致——四方の字
生勿論教師に於て其學術を充分開展
得意あり有る
朝廷上々丈夫々英源教育の所旨勅お達——上下
兩便の儀と存あり

一板地と儀と東京と對——ある都令とあり他日の學

術者も東西の時と——と並行の致と端緒を開港以來の時
日とあり互不——殊に從來高賈のみ重と群集致
右の場とあり文達と開化達と東京とありあり
今日と急務と普通と洋學校を充て人民と
學術の味を知——と真の紀奮案と——
何り然る待ハ教師多者と殊に我國態と通し人
情を解——り者も愛用を致——然東京開成校
中——と佛教師二人英教師二人の在る成
内一人のハエルベツキと尚其東京の風土と進
るに厚あ煩ひる由同人の業而此業知と人物と有
と上とありあり美と——言密教師を充て致

修儀より書寫者や不成校に於ては曰く學之教師五人
之内より一人を減し更に舎密之教師一人を以て以て
差し一石都合に儀の習之習之如く而して所てを
勤者仕也

一家文之如く文選も後右之事一が洋學校之制度ハ
東京大學校の如く廣大あるを要する兵部省
中一兵學寮を置て之に大坂府中開成寮を
設て奉事或は兵部官之内より一人博士之内より一人
寮頭を以て兼列任以下之官員を命し政務の而
本府之管轄に屬し學政の拘りて寮頭之權



及て之を東京の不成校に於ては將亦費用并
官員之俸祿も學生之多少によりて増減の有る
と爲す由か一等官給 外國教師を賜は然り可也 官員
之俸祿も 校中其費用を以て五兩ありしと云ふ
開校之始書藉器械未備と爲り別段に入費の
有るは初年より官員之數も少く故餘祿を
以て此等未編しあり則ち第一等官祿之割合
尤も如

一等官祿 千二百石

而三十石

十一等一人

六十七石

十二等一人

二百石 十三等四人 一百五十石 十四等五人

二百石 十五等八人 四百七十石 十六等第一二十人

ノ千百九十五石

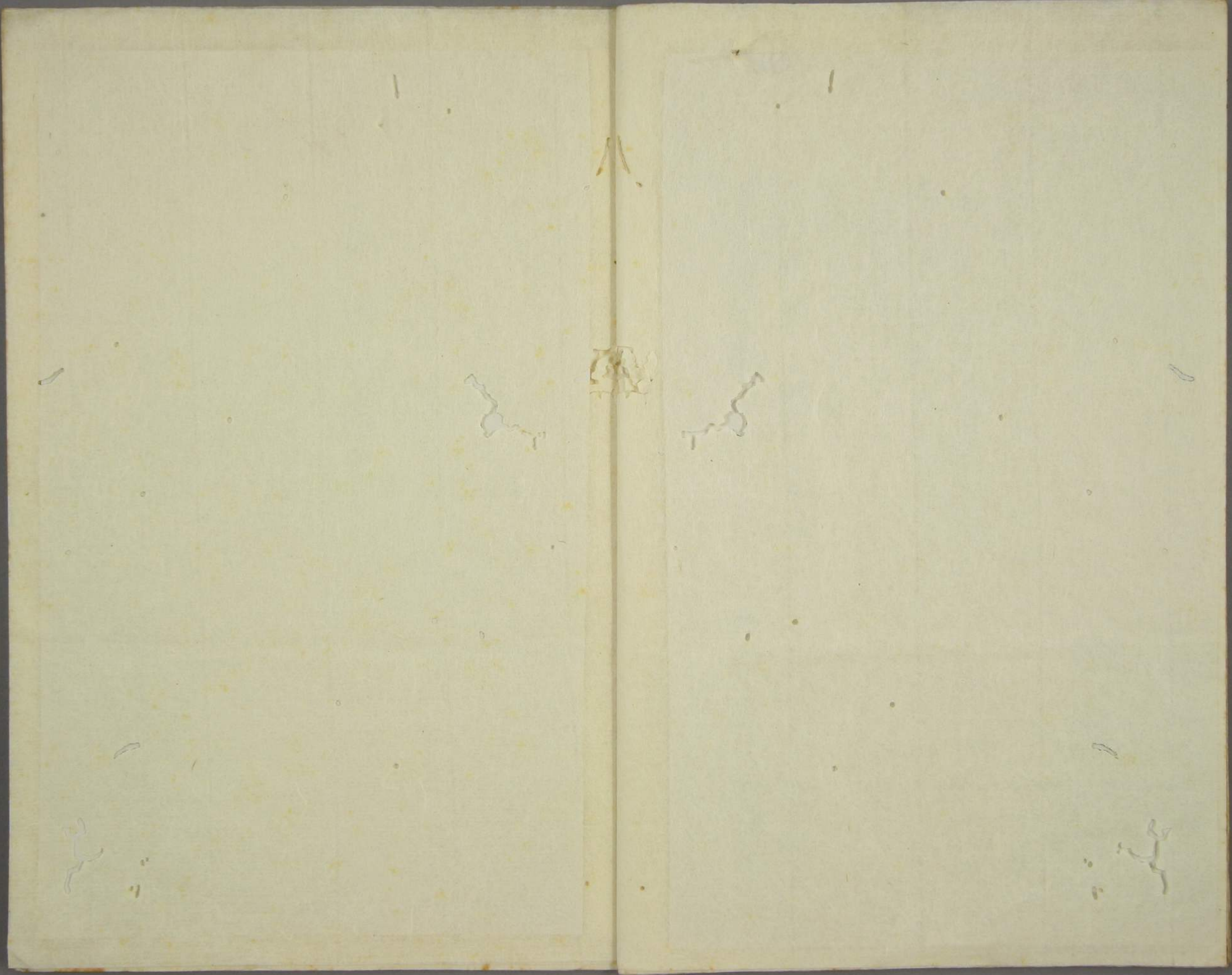
右ノ官禄ノ内開校以後凡五ヶ月ノ官員ノ數を半減
——その二百石の割合を事——是りあり——則ち一月
五十石ノ餘禄出米一石九斗ノ積を金四百兩
お成内而五十石を以て校中ノ定費ノ元を強り
二百五十石ノ五ヶ月則ち千兩而五十石を以て書藉
墨紙等完備致し——亦も存米五ヶ月後より

生徒ノ益輻輳 從而官員ノ數を倍増し俸禄每
之秋亦米より現今舎密局ノ月費位ノ金より出
高者ノ秋仕度も存

右ノ今日必須ノ急務ノ者ニ殊ニ其費ノ少シク
多ク向何分ノ早ニ以議及之止出沙汰有之秋
内申事新修望

巳十月

何禮之助



學校之儀、付建言

洋學校

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

人材教育之像、初々、廟堂に於て、深しき注意有之
尚也、病院、舎、客局、等、追々、建設之上、西洋有若之
教師、由、聘、召、成、居、り、其、中、則、政、以、来、の、多、端、の、折、柄
に、未、定、備、之、処、に、至、り、不、一、今、也、則、校、友、亦、之、東、京、
に、於、て、学、政、の、創、真、有、り、上、に、尚、地、学、校、の、像、に、速、に
以、濟、世、を、成、し、務、む、に、任、務、に、當、時、に、形、勢、に、適、し、候
事、の、件、尤、と、陳、述、仕、候

一、学校を設る上、学科と順序を以て、心を用ひ、
其、中、真、の、専門、之、学科、を、
時、に、是、の、學、の、意、を、深、く、究、め、り、爲、り、舎、客、を、製、薬、者、と、過、り

兵學、銃卒、止る。今醫學、會密、兵學、之科、既、專
門、之學校、あり、而、其、基礎、を、學校、大成、を、以、て、
本、末、其、所、を、先、を、後、と、す、願、く、は、一、日、早、く、譯、字
寮、を、開、き、四、方、之、學生、を、教、へ、居、る、課程、を、一、年、と、し、
字、書、之、変、化、も、り、地理、文、法、を、以、て、一、年、と、し、
歴史、を、解、し、其、國、語、暢、通、を、一、年、と、し、
専門、學、入、り、之、熱、心、之、業、を、就、き、國家、事、務、之、用、
供、を、爲、す、但、惜、士、多、あり、者、は、文學、を、從、事、し、
情、賢、多、聞、を、愛、し、此、例、之、何、ぞ、

一、専門、學、之内、醫學、化學、理、學、兵、學、之、既、其、學校、あり、

而、之、今日、官、途、勉、者、の、若、く、會、考、を、爲、す、法律、の、學、を
缺、く、此、學、科、は、改、作、國、法、民、法、刑、法、刑、罰、法、列、國、交、際、法、り、
經濟、貿易、會、計、の、律、令、等、を、至、り、其、同、教、多、何、也、
同、今、之、急、務、は、是、を、此、の、學校、中、に、備、へ、置、き、仕、官
之、大小、の、有、目、多、者、を、培、植、を、爲、す、

一、學校、府、中、に、あり、上、は、本、府、之、管、轄、之、屬、を、以、て、事、勿、漏、
あり、然、れ、も、亦、地、方、之、東京、に、對、し、て、は、都、會、を、以、て、
尋、常、藩、學、縣、學、を、遠、の、校、中、に、別、設、之、而、東京、
大、學、校、之、例、に、依、り、天下、之、學、政、を、以、て、能、く、可、あり、
而、之、學校、之、官、員、は、參、事、或、は、民、部、官、之、内、一、人

博士之内一人、大少丞を兼り、判任以下之官員を黜陟
を厚く権を操り、美任以上に至りては、東京にあり、別当大少
監に達し、
宣旨を奉り、
任職し、将亦官員の数、
学生之多少、比例し、
おあふ員数を定むる

一、一家文東京大學校、一勅諭、一兵學寮、一唯、
譯學寮を設け、一平府之屬、一高、一奉事、一或、一博士
出頭、一寮頭、一市の學官、一有、一目寮、一准、一に、一置、
り、一あり、一也

一、一校中之規則、一授學之課程、一既、一成算、一有、一り、一也、一建、一學

基礎の確定、
土儀、
其言、
仕儀

一、一幼年之生徒、
皇國之典故、
通、
漢籍之概畧、
達、
し、
筆を執り、
文を作る、
諸學、
入、
る、
不、
可、
缺、
の、
要、
あり、
此、
學、
科、
小、
學、
校、
之、
屬、
也、
右、
此、
學、
校、
之、
聲、
息、
也、
通、
親、
和、
密、
あ、
り、
也、
也

一、一學校之名、
周成、
と、
号、
し、
或、
地、
名、
を、
賜、
或、
譯、
學、
校、
と、
い、
ふ、
也、
其、
直、
に、
或、
は、
校、
に、
不、
あ、
り、
是、
に、
校、
を、
示、
す、
也、
也、
基礎の確定、
上、
一、
朝、
に、
あ、
り、
也、
也

右七件今日之急勢之付直安市評交被成下候
幸存候

己十月

何禮之助

